

石川県環境適合型複合材料の研究開発に 係る外部評価結果について

外部評価委員

産業技術総合研究所	マルチマテリアル研究部門長	堀田 裕司
石川県職業能力開発協会	専務理事	浅井 豊樹
石川県繊維協会	専務理事	飴谷 義博
石川県鉄工機電協会	専務理事	稲葉 良二
北陸産業活性化センター	特別参与	福井 幸博

外部評価委員の評価結果

(評価点：1 劣る、2 やや劣る、3 普通、4 優れている、5 非常に優れている)

項目	内容	評価点
1 プロジェクトの推進に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの体制等は適切か。 ・産学官連携の取り組みは十分か。 ・実施スケジュール・実施状況は妥当か。 ・予算配分・執行状況は妥当か。 ・KPI達成に向けた取り組みは十分か。 	4.8
2 人材育成に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・育成される人材は、産業界が求める人材像と合致するか。 ・実施体制は適切か。 ・実施状況は十分か。 	4.4
3 研究開発に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマは事業目的に沿ったものとなっているか。 ・産学官連携を含めた実施体制は適切か。 ・進捗・成果の状況は十分か。 	4.6
4 地域への展開に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・育成した人材の地域産業への定着の取り組みは適切か。 ・開発した技術の地域産業への普及の取り組みは適切か。 ・サプライチェーン全体、他産業の生産性向上・競争力強化につながるか。 	4.0
5 今後の取り組みに関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・自立への取り組みは十分か。 ・大学改革につながる取り組みになっているか。 ・生産技術の人材育成と研究開発の拠点となるための取り組みは適切か。 	4.0

外部評価委員のコメント

プロジェクト全体に関しては、当初の目標は達成見込みであり、現状での実施状況は順調であるといえる。研究開発に関しては、方向性が明確で、成果が実現するための戦略的なアプローチがなされており、設定された目標に向けて着実に進んでいる。今年度は初年度の立ち上げのため、地域への展開がまだ不十分であるが、堅実な計画であるため今後に期待する。

プロジェクト全体に関しては、産学官の連携が体制として取られており、現状での実施状況は順調である。複合材料専門教育プログラムはまだ始動したばかりであるが、コーオプ事業において学生や協力企業からのフィードバックを活かして、制度等を効果的かつ持続的に改善する仕組みの構築を期待する。

また、複合材料専門教育プログラムにおいて、石川県内の複合材料産業との更なる連携の強化を進めていただきたい。

プロジェクト全般に関して、概ね適切と評価する。企業・在校生・高校生（次世代人材）への展開のための各種活動の内容は適切で、複合材料を身近に感じ複合材料産業振興のためにも重要な取り組みがなされている。これらの取り組みは、地道に継続して頂きたい。

また、開発した技術を県内繊維企業で活用してもらうための技術的工夫および情報発信もして頂きたい。加えて、県内で複合材料関連の新規受注ができるように頑張ってもらいたい。

管理体制、実施状況含めて、プロジェクトは推進されている。研究開発テーマの設定や研究開発実施体制は、産学官連携が機能している。また、研究開発の進捗状況は、概ね計画通りに進んでいると評価する。

今後、県内機械企業との関係強化を進めて、参画企業の増加や研究開発数の増加を期待する。

プロジェクト全体に関しては、現状での実施状況は順調である。地域への展開に関しては、人材定着・技術普及のために、地域産業の現状に基づき適切に取り組んで頂きたい。

県内中小企業への生産性向上・競争力強化への貢献に関しては、プロジェクト開始から日が浅いながら、地道な取り組みはされている。地域の複合材料産業の発展的活躍に向けて、研究成果の実装や課題解決にも対応できるような支援を期待する。